

2019年1月4日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の2018年の気候統計値

年間の気温は高かったが、九州南部で冬の気温が32年ぶりの低温となるなど、変動の大きい時期があった。
 夏から秋にかけて台風や活発な前線の影響で降水量が多くなり、年間の降水量も多かった。

年平均気温：油津、屋久島、種子島では「平年並」となりましたが、その他の地点は「高い」となりました。

年降水量：枕崎、屋久島、種子島では「平年並」となりましたが、その他の地点は「多い」となり、宮崎では「かなり多い」となりました。

年間日照時間：油津と名瀬では「平年並」となりましたが、その他の地点は「多い」となり、沖永良部では「かなり多い」となりました。

2018年の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			
	()	()	()	(mm)	(%)	(%)		(h)	(%)		
宮崎県	宮崎	17.8	(+0.4)	+	3167.5	(126)	+	131	2191.9	(104)	+
	延岡	16.9	(+0.3)	+	2865.0	(125)	+	118	2225.2	(105)	+
	都城	17.1	(+0.6)	+	2943.0	(119)	+	132	2002.6	(103)	+
	油津	18.3	(+0.1)		2780.5	(107)	+	136	1962.0	(100)	
鹿児島県	鹿児島	19.0	(+0.4)	+	2397.0	(106)	+	114	2051.2	(106)	+
	阿久根	17.7	(+0.5)	+	2456.5	(119)	+	114	2109.0	(108)	+
	枕崎	18.4	(+0.3)	+	2302.0	(106)		126	1994.8	(104)	+
	屋久島	19.7	(+0.3)		4544.0	(101)		170	1559.2	(102)	+
	種子島	19.8	(+0.2)		2496.0	(106)		137	1869.0	(104)	+
	名瀬	21.8	(+0.2)	+	3196.0	(113)	+	168	1372.5	(101)	
	沖永良部	22.7	(+0.3)	+	2047.0	(111)	+	127	2019.4	(107)	+

(注意) ・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) :平年並 - :低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。
 ・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2018年の順位更新表

・年間日照時間の多い方から

順位	地点名	値(h)	平年値(h)	平年比(%)	これまでの1位(h) (西暦年)	統計開始年
1	沖永良部	2019.4	1880.5	107	2017.1 (1977年)	1969年

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当

電話 099-250-9912 (内線 241・242) FAX 099-255-4234